

事務所長からのメッセージ

【皆さん、こんにちは。いつもこのサイトをご覧いただき、ありがとうございます。私どもでは、道北地域の金融や経済に関する最新の情報発信に努めております。ご意見やご要望をお寄せください。このページ右下のアドレスにアクセスしてください。】

- 12月15日に公表しました「[金融経済概況\(道北地区\)](#)」では、道北地域の景気の基調判断を先月までの「やや厳しい状況にある」との表現から若干下方修正し「厳しい状況にある」としました。
- このように判断した理由は以下のとおりです。
 - (1) まず、個人消費をこれまでの「やや厳しい状況にある」から「厳しい状況にある」へ若干下方修正させたことです。具体的には、百貨店・スーパー等主要大型店の売上高や新車登録台数が一段と減少してきています。加えて道北地域の空港利用客数がここへきて一段と減少してきています。
 - (2) 設備投資の低迷がより明確になったことです。「[企業短期経済観測調査\(道北地区\)](#)」(12月調査)で明らかになった平成20年度設備投資計画をみますと、上期は前年同期実績対比で4割減となり、下期は同7割減となる見込みです。
 - (3) 住宅投資の弱めの動きが広がっていることです。昨年は建築基準法改正の影響で住宅投資が低迷しましたが、その後1年経っても前年の水準にキャッチ・アップするに至っていません。
 - (4) 加えて、新規求人数、有効求人倍率等の雇用情勢、倒産動向などが一段と厳しさを増していることです。
- この間、上記短観結果で明らかとなった企業の業況感は足もと幾分改善していますが、先行きに関しては製造業・非製造業ともに一段と悪化しています。
- わが国経済、世界経済が急速に変調をきたす中で、道北地域の経済は、厳しいながらも、粘り強く持ちこたえているといったところではないでしょうか。先の景気回復局面で大きな浮揚がなかった分、落込みも比較的軽微ということが出来るかもしれません。今こそ辛抱の時、将来に向けた戦略を練る時であると共に、真の意味で経営の手腕が問われている時かもしれません。

平成 20 年 12 月 15 日
尾家 啓之